

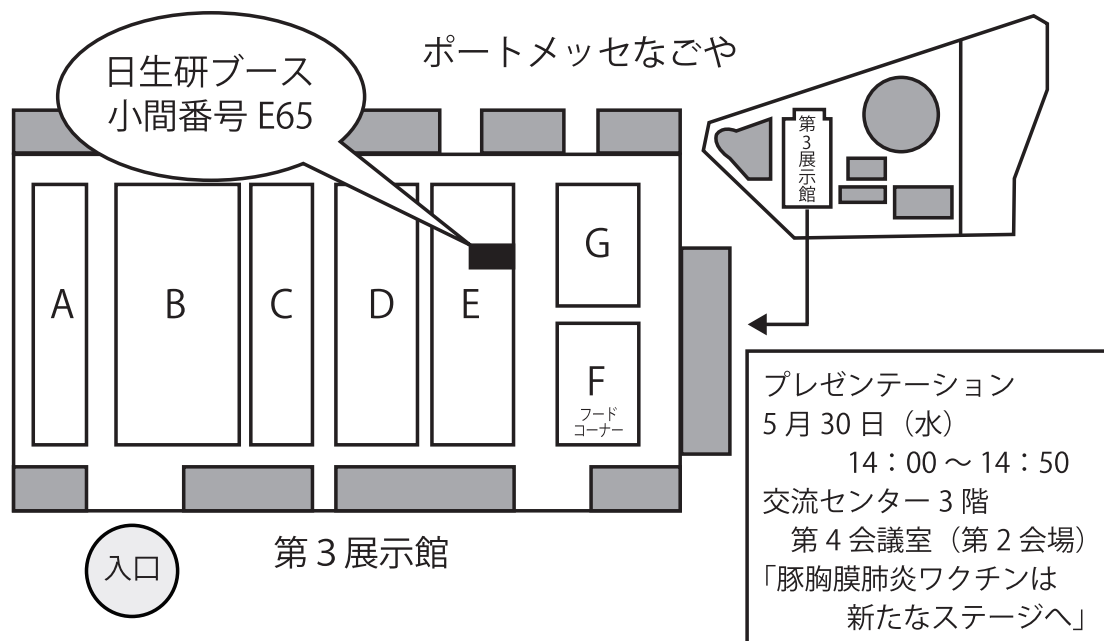
国際養鶏養豚総合展へのブース出展並びにプレゼンテーションのご案内

日頃からナバックレター養豚版をご愛読頂き誠に有り難うございます。2005年5月に発刊しましたナバックレターは、2008年1月の第30号より養豚版としてリニューアルされた後に、今号で第109号となりました。これも一重にご愛読頂いている皆様のお陰と思い、今後も皆様に有意義な情報発信ができるように努力していきますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

さて、今号のナバックレター第109号はブース出展とプレゼンテーション開催のご案内とさせていただきます。まず初めに、来る2018年5月30日(水)から6月1日(金)にかけてポートメッセ名古屋で開催される国際養鶏養豚総合展2018にブース出展致します事をご案内申し上げます。ブース番号はE65でフードコーナーの近くに位置しております。日生研株式会社のブースは、日生研製品全般に関するご説明や各種製品などに関する情報交換の場と考えており、お立ち寄り頂いた皆様とゆっくりとお話ができるスペースをご用意しているほかに、お飲み物やソフトクリーム、記念品などをご用意しております。各ブースを廻られる途中でのご休憩でも構いませんので、お気軽にお越し頂ければと思います。

また、5月30日(水)の14時からポートメッセなごや交流センター3階の第4会議室(第2会場)において、「豚胸膜肺炎ワクチンは新たなステージへ」と題したプレゼンテーションを開催致します。2種類のアジュバント「ツインアジュバント」で免疫賦活作用を強化した豚胸膜肺炎ワクチン”スワインテクトAPX-ME”について、開発担当者からワクチン開発時の様々なデータ並びに添加した2種類のアジュバントの免疫賦活原理を解説した後に、市販後調査担当者から市販後1年以上をかけて収集した野外応用データを紹介させていただきます。是非とも、プレゼンテーションにご出席頂いた上で、この製品に関する忌憚ないご意見を交換させて頂ければと思います。

日生研株式会社では、養豚産業において特に重要な疾病である豚胸膜肺炎への新たな対策として、ツインアジュバントのスワインテクトAPX-MEを新規に上市し、従来から販売している3種類の菌体抗原と3種類の毒素抗原の合計6種類の有効な防御抗原を含有する日生研豚APワクチン125RX、そこに更に豚マイコプラズマ肺炎に対する有効性を付与した日生研豚APM不活化ワクチンを併売させて頂いております。これら3製品については、それぞれ特色がございますのでその特徴を良く把握して頂いた上で、上手に活用していくことで、豚胸膜肺炎への新たな戦略を構築できると強く信じております。抗菌性物質や従来のワクチネーションプログラムに代わるものとして、ご興味を持って頂ければと思います。最後になりましたが、今後も日生研製品並びにナバックレター養豚版をご愛顧頂き、弊社営業担当者にもご厚情賜りますようお願い申し上げます。



「国際養鶏養豚総合展のすすめ～営業部員シリーズ K島の場合～」

